

平成18年6月30日
内閣府（防災担当）

中央防災会議
「東南海、南海地震等に関する専門調査会」（第23回）
議事概要について

1．専門調査会の概要

日時：平成18年6月30日（金）15:00～17:00

場所：全国都市会館 3階 「第一会議室」

出席者：土岐座長、阿部、島崎、室崎の各専門委員、
榊内閣府政策統括官 他

2．議事概要

中部圏、近畿圏の検討対象とすべき内陸の地震のモデル化及び東南海・南海地震防災対策推進地域の指定基準の見直しについて事務局より説明を行った後、各委員にご議論いただいた。

推進地域の指定基準の見直しについては、事務局の案が了承された。

内陸の地震のモデル化について、委員からの意見等は以下のとおり。

今回整理された断層のモデル化の考え方にに基づき、今後、震度分布の推計に入ることとする。

国と自治体との被害想定結果の違いについて、今回整理された事柄をとりまとめの際に記述しておくこととする。

津波の浸水域は、津波の高さだけでなく、津波の波長にも影響されることに留意すること。

<連絡・問い合わせ先>

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 中村 浩二

同参事官付主査 檜山 洋平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199